

平成 28 年度アーツカウンシル新潟の活動実績（平成 29 年 3 月 22 日現在）

1. 文化芸術活動の支援

- 相談窓口の開設（平成 28 年 10 月 6 日）
 - 市民団体等からの相談実績：10 団体等から 12 件 <詳細裏面>
 - うち、1 件は企画、広報、クラウドファンディング等イベント開催支援含む
- 平成 29 年度助成申請受付（平成 28 年 11 月～）
- 文化情報スペースの開設（平成 29 年 2 月）
 - ・語りの場「あるきながら 地域の文化資源と課題をみつける」開催（平成 29 年 3 月）
- 新規補助金（市内文化芸術団体の基盤整備及び仕組みづくり）の検討及び新年度予算要求
- 芸術文化振興基金への補助金申請
（アマチュア等の文化芸術活動、民俗文化財の保存活用活動を対象とした補助金）
- 国際交流基金への補助金申請
（海外での文化芸術事業実施のための渡航費を対象とした補助金）
- 水と土の市民プロジェクト ワークショップモデレーター（平成 29 年 2 月）
- 新潟県公立文化施設向け「アートプロデュース講座」講演（平成 29 年 3 月）

2. 調査・研究

- 文化芸術関連事業視察（BeSeTo 演劇祭新潟、がたふえす 他）
- 新潟市の文化芸術状況についての基礎調査の開始（平成 28 年 10 月～）
- 文化庁 全国文化プログラム推進調査受託（平成 29 年 1 月）
- 英国文化都市（ハル市）視察（平成 29 年 3 月）

3. 情報発信

- アーツカウンシル新潟 facebook ページ開設（平成 29 年 1 月）
- アーツカウンシル新潟広報用チラシ作成（平成 29 年 2 月）
- アーツカウンシル新潟ホームページ開設（平成 29 年 3 月予定）

4. 企画・立案

- 市文化芸術事業への支援
 - ・文化創造交流都市ビジョンへの助言
 - ・資金融資制度の金融機関での実施に向けた提案
 - ・「東京・沖縄・新潟で育まれた伝統芸能の共演」、「文化プログラムシンポジウム in 新潟」開催協力（平成 28 年 12 月）
 - ・シンポジウム「誰もが参加できるオリンピック・パラリンピック文化プログラム～地域・アート・共生～」共催（平成 29 年 2 月）
 - ・各種事業（日仏文化対話、水と土の芸術祭 2018、NIDF2017、芸術創造ファクトリー 他）への企画協力、助言等
- 職員研修（人材育成）
 - ・アーツカウンシルに関する職員向け説明会（平成 28 年 10 月）
 - ・社会包摂に関する文化政策勉強会（平成 28 年 12 月～）
- アーツカウンシル新潟中長期計画策定（策定中）

案件相談記録一覧表

	相談種別	相談内容	対応結果 (助成、助成金マッチング、団体紹介等)
1	祭絵	県内の祭りのイラストを伝統芸能などをリサーチしながら描いている(ご自身が)。それらをオリンピックにむけた文化プログラムに何か活用できないか考えている。	直接的に事業化することは難しいが、文化プログラムの広報や地域資源の紹介等で活用できる可能性あり。地域の伝統芸能の掘り起こしなどを今後行う予定であり、引き続き情報交換をお願いした。
2	いけばな普及	いけばな講師(池坊)として活動。いけばなを通じウラジオストクとの交流もしている。オリンピックの機会を通じ、伝統文化のいけばなの普及や若い世代への伝承ができないか。	新潟は花きの産地でもあり、市の農林水産部などとも相談して事業を組み立てることができるか検討していく。
3	神楽保存	三社神社の神楽の保存について考えており、今後の保存の形や市に認めてもらう方法等が知りたい。	今後、地域の神楽などの情報を集めてできることを検討していく。
4	アート展示・イベント開催 市民参加型	旧大和デパート新潟店跡地を使用したアート展示・イベントを考えている。建物の解体を前に、新潟の多くの人々が親しんだ場所でたくさんの人が集まるような企画としていきたい。	多くの新潟市民が懐かしく親しみを覚える場所でのイベントなので、盛り上がるようにもうひと工夫できる可能性あり(下記具体案)。アーツカウンシル新潟もできるところで協力。資金集めとして寄付金を募ることと、クラウドファンディングの提案。市への助成申請も検討。
5	障がいのある子どもの社会参加 (プレジョブ、演劇、神楽) 神楽保存	障がいのある子どもたちの社会参加を促すツールとして演劇や仕事体験などの地域活動を進めており継続したものとしていきたい。目下、山ノ下神社神楽継承者育成の課題とも併せて活動を進めている。	芸術文化振興基金(地域の文化活動振興「民俗文化財の保存活用活動」助成申請済。
6	小劇場運営 演劇	運営は人手不足が続いている。他県の地方の小劇場同士のネットワークづくりなど、新しいことへ挑戦してみたい。市内での演劇祭も現在少し停滞しているが、新たな形で取り組んでみたい。	芸術文化振興基金(地域の文化活動振興「アマチュア等の文化団体活動」助成申請済。
7	障がいのある子どもの創作物公募 展覧会開催について	公募で障がいのある子どもたちの美術展覧会を審査員をつけて開けるとよいと考えているが、何か気を付けることはあるか。	作品を広く公募で集め審査するとなると、一時保管に大きなスペースが必要になる。審査員をつける利点はあるが結果として参加者が選ぶ人や賞に囚われがちになる弊害はある。むしろアンデパンダン展などで自主的な発表を促す機会を作るということが面白いのではないかというアドバイスを行った。
8	神楽保存	三社神社の神楽の保存についての助成金進捗状況についての問い合わせ。	芸術文化振興基金助成申請済の内容について確認を行った。事務局設置についてアドバイスを行った。
9	チェスの振興	新潟国際親善チェス協会の活動はまだあまり知られていないが国際親善やレベルの高いチェス文化が育まれている。新しい試みを行いチェスの活動を普及していきたい。	具体的にどのような普及活動を行うか、企画書的なものに落とし込んでみると、イメージを共有しやすいというアドバイスを行った。
10	天寿園でのイベント開催について	5月に天寿園で春祭りを実施予定。実行委員会形式のイベントを開催しようと考えている。その広報協力、今後の活動資金についての相談。	イベントの後援や協力の方法として、大和デパート展覧会例をお伝えしアドバイスを行った。一度相談者が持ち帰り、検討を行う。
11	地域のデザイナー・クリエイターを活用した商品開発について	新潟出身・在住の女性クリエイターを活用したデザインプロジェクト「にいがたもよう研究所」今後の発展にむけての相談。	同じような動きで障がいのある人の絵を素材としデザイナーとのコラボによる商品開発など、社会貢献とビジネスに関わる先進的事例がある。新潟でそのような展開も考えられるのではないかというアドバイスを行った。